



大動脈分岐部高度石灰化病変に対するキッシングステントの一例

チャレンジポイント

大動脈終末部を含む両側総腸骨動脈分岐部高度石灰化病変に対するキッシングステントの際に、ステント拡張不全および血管破裂のリスクが懸念された。

患者背景

- 年齢：58歳、性別：女性
- リスク因子：慢性腎不全・維持透析、脂質異常症
- 対象病変：大動脈終末部（90%狭窄）を含む両側総腸骨動脈分岐部病変（右90%狭窄、左99%狭窄）
- TASC II D
- Rutherford5、両側足趾難治性潰瘍

治療内容

両側総腸骨動脈分岐部病変のためキッシングステントの方針としたが、高度石灰化（図1）のため十分なステント拡張を得るには高圧拡張が必要で、血管破裂のリスクを考慮しバルーン拡張型カバードステントであるVBX ステントグラフトを選択した。

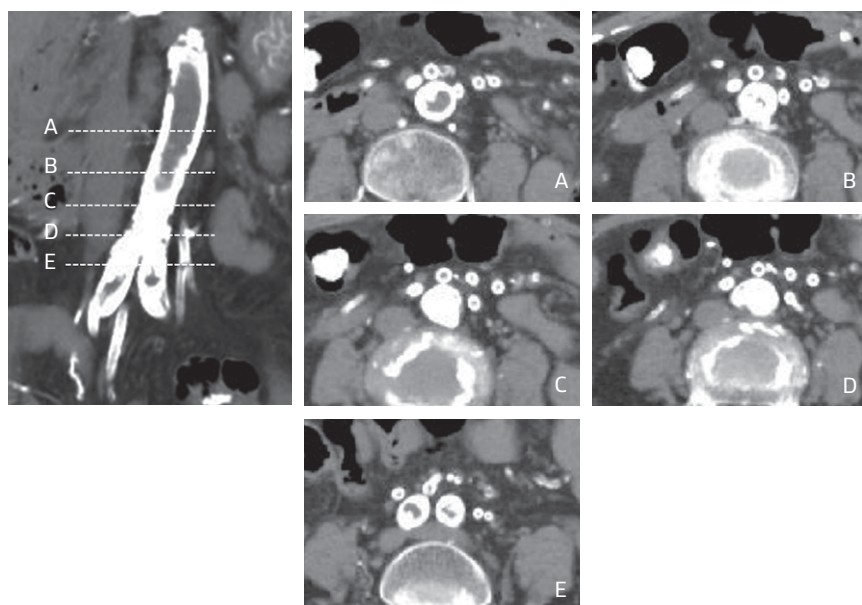
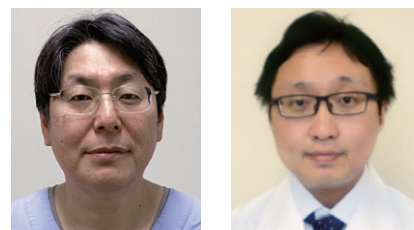
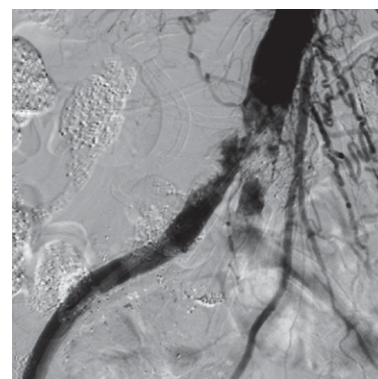


図1 術前のCT画像による高度石灰化の様子

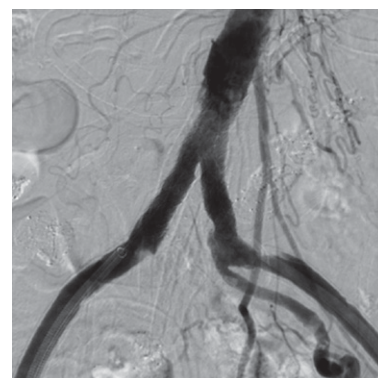


宮本 明 先生 吉田 善紀 先生
高津中央病院

図2 術前および術後の血管造影



術前 ABI：右 0.40 左 0.34



術後 ABI：右 0.63 左 0.78
(両側 SFA および BK に未治療の病変あり)

使用デバイス

- シース : 左上腕動脈 4 Fr 16 cm、両側大腿動脈 7 Fr 23 cm
- ガイドワイヤー : 0.014 inch 4種類、0.035 inch スティッフタイプ1本
- 前拡張バルーン : 径1.5/長20 mm、径3.0/長30 mm、径5.0/長40 mm、径6.0/長40 mm (ノンコンプライアント)
- 後拡張バルーン : 径8.0/長20 mm セミコンプライアントバルーン × 2本
- スtentグラフト : VBX スtentグラフト 径7.0/長59 mm × 2本
- その他 : IVUS、ガイディングカテテルJRタイプ6 Fr

治療内容

左総腸骨動脈病変は亜完全閉塞で、高度石灰化のためワイヤーおよびバルーン通過に難渋した。なんとか1.5 mmバルーンが通過、順次バルーンサイズを上げ、大動脈より左右総腸骨動脈を6 mmバルーンで20気圧まで前拡張するも、疼痛は軽度であった。前拡張後の造影では、大動脈遠位から腸骨動脈分岐部のリコイルが強く(図3)、大動脈遠位より内腸骨動脈分岐直前まで覆うようにVBX スtentグラフト7 × 59 mmをキッキングステントした(図4)。後拡張は、交互にバルーン拡張したが、右は10気圧で疼痛、左は7気圧で疼痛を訴え、それ以上の加圧を控えた。最後に同時にバルーン拡張行っても、疼痛のため5気圧までしか加圧できなかった。造影(図5)およびIVUSにてスtent拡張不十分と診断し、8 × 20 mmバルーンでスtent内でKBTを実施したが(図6)、腸骨動脈起始部では疼痛のため、4気圧までしか加圧できなかった。IVUSでは一部、腸骨動脈分岐部のスtent拡張はやや不十分であったが(図7)、造影上大きな問題はないと判断した。また、キッキングステントの中枢端は大動脈に完全に密着はされておらず、血管破裂リスクもゼロではないため、敢えてこれ以上の拡張は控えた。なお、左右とも浅大腿動脈にびまん性狭窄、前後脛骨動脈高度狭窄を認め、傷の治癒が望めない場合は、鼠径以下に対する血管内治療の方針とし手技を終了した。

コメント

高度石灰化の腸骨動脈分岐部病変に対するEVTでは血管破裂の合併症を避けることが最重要であり、VBX スtentグラフトによって、より安全に必要な血流改善が得られたと考える。

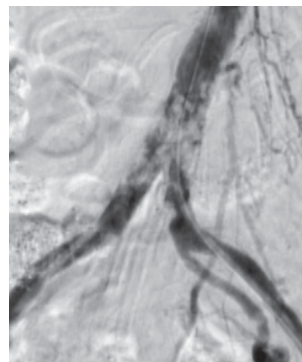


図3 前拡張後の造影



図4 VBX スtentグラフトによるキッキングステント

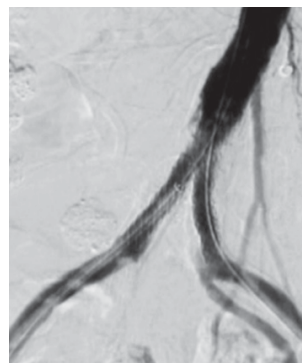


図5 VBX スtentグラフト留置後の造影

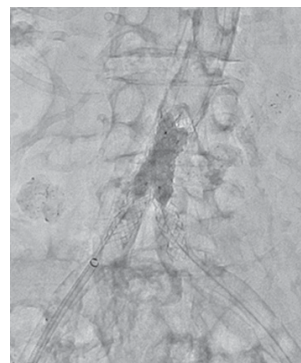


図6 8 mm バルーンによるKBT

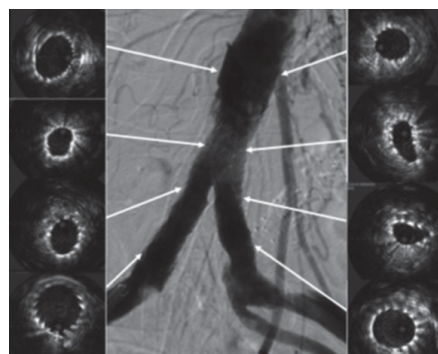


図7 最終造影とIVUS画像

販売名: ゴア® バイアバーン® VBX バルーン拡張型スtentグラフト 承認番号: 22900BZX00309000

この資料は医療関係者の方向けです、それ以外の方への再配布はご遠慮ください。製品のご使用前には必ず電子化された添付文書をお読みください。

本稿に記載した転帰および所見は、個々の症例経験および治療患者に基づくものです。本稿には添付文書に示された手順のすべてが記載されていない場合があります。本稿は添付文書、または医療提供者の教育、訓練、専門的な判断の代替となるものではありません。患者管理および医療技術の利用に関する意思決定は、すべて医療提供者の責任において行われるものとなります。

ゴア、GORE、Together, improving life、バイアバーン、ブイビーエックス、VBX、VIABAHNおよび記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associates の商標です。

© 2022 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22619300-JA JUNE 2022

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 日本ゴア合同会社
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp

